

「税」について考える

税務課 課税係 ☎0738-23-5504

中学生の「税」についての作文

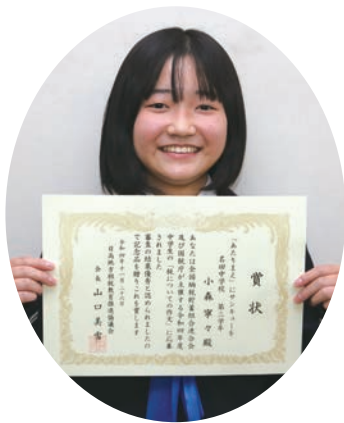
日高納税貯蓄組合連合会、御坊納税協会、御坊税務署は、御坊税務署管内の中学生を対象に「税についての作文」の募集を行いその結果、1、628編の応募がありました。

審査の結果、御坊市内から小森寧々さんが、「日高地方租税教育推進協議会賞」に選ばれました。

日高地方租税教育推進協議会賞

名田中学校 3年

小森 寧々さん



作文紹介

題名 「あたりまえ」に

サンキューを

「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」これは、私たちが使っている、教科書

の裏に書かれた言葉です。分厚く、きれいにカラー印刷されており、普通に買えばきつと安くはないと思います。それを小学生のころからずっと無料で使えていると思うと、税はすばらしいものだと思います。んか？

教科書に落書きをしたり、教科書で遊んだりしている人を、今まで一度は見たことがあると思います。私も落書きをしたことがありました。「無料だから…」という落書きをしてしまったり、やぶったりしてしまいます。教科書を使う私たちにとれば無料ですが、その無料の裏には、多額の税金の支えがあります。人間一人一人がきちんと納めてきたからこそ、私たちは9年間も教科書を無料で使えるのです。高校生になれば、教科書を税金で買えなくなります。高校は義務教育ではないからです。私は今中学3年生。税金で買った教科書も、あと半年で使えなくなってしまう。だからこそ、手元にある教科書を大切に使うと心から思いました。

あたりまえ、学校に行くのもあたりまえ、水道からきれいな水がでてくるのもあたりまえ、そう思っていますか？

世界人口の半数以上が水道を使えるようになった今でも、約6億6000万人の人々が、安心し

て飲める水が身近になく、毎日80人以上の人が命を落としています。これは、あたりまえにきれいな水が飲めている私たちからすると、想像もできないような、とても恐怖なことだと思います。しかし、きれいな水があたり前の日本人は、貴重な水をむだづかいしてしまっています。アフリカは、税金の制度が整っておらず、税金を集めることができません。日本は、税金を水道の整備にも使っており、そのおかげで水道は成り立っています。あたりまえだからこそ、「水がなくなることはない。」と安心してしまい、無駄遣いしてしまいがちですが、そのあたりまえができない国もあることを頭に入れ、大切に使うべきだと思います。

あたりまえに学校に行けること、あたりまえに行きたいところに行けること、あたりまえに水が飲めること、これらの後ろには多額の税金の支えがあります。平和な日々が成り立っているのは税金のおかげです。税金が生んだあたりまえに感謝し、そのあたりまえを大切にすることが、私たち日本人の使命なのではないでしょうか。

令和4年度「税に関する中学生の標語」優秀作品

日高地方租税教育推進協議会は、税を考える週間（11月11日から17日）の一環として、「税に関する中学生の標語」の募集を行いました。

審査の結果、市内から右の皆さんが優秀作品に選ばれました。

- | | | | |
|-----|--------|---------|----------|
| 税金は | みんなが負担 | みんなのために | やなはら みさと |
| | | | 柳原 海里さん |
| 税金は | 生活支える | 必需品 | なかしま こうが |
| | | | 中島 功雅さん |
| 納税は | 私ができる | 恩返し | おおはた せり |
| | | | 大畑 惺鈴さん |